

2024 年度 研究職（技術研究調査官）採用試験【論文試験】

【設問1】

社会活動を行う場合、原子力施設に限らず「安全の徹底」が求められ、安全が損なわれれば、事故の発生や組織への信頼の失墜に至りかねない。

これを踏まえ、「安全の徹底」には何が必要か、自身の大学等での経験、あるいは日常、身の回りで起きることの中で一例を挙げながら、考えを述べよ。

【設問2】

原子力規制庁の研究職員は、大学や独立行政法人といった外部機関との共同研究を行うことがある。このような異なる組織との共同研究において、研究者のコミュニケーション力が研究の進捗に影響することもある。

研究者にとって、他者と円滑かつ良好なコミュニケーションをとるために必要となる心がけ、方策について自身の考えを述べよ。